

通信制教育目標	重点目標（中長期的目標）	総合評価					
「生きる力」の育成 ～ 自学自習を通して～ 社会に対応できる学力 ・コミュニケーション能力 自己の可能性の再発見	単位取得に向けた履修継続への支援 自己実現を図るための進路指導の充実	内規変更によって多くの生徒が単位取得に向けて最後まで努力するようになった。また、平日に登校して学習する姿も多く見られるようになった。 進路では進学、就職ともに少なかった。1年次より計画的な進路学習を位置づけ、卒業後の進路についての意識を高めていくことが必要である。		A	B	C	
	今年度の重点目標	成果と課題					改善策・向上策
	職員研修会の実施 ・内規変更に対する検証 ・学習指導の工夫と評価 ・全通研・中通研などの全国的動向	・内規変更により単位取得できる生徒が増えたことはよかったが、個人面接等に頼りすぎた生徒もいたことは今後の課題。 ・全通研・中通研の資料による研修から、多様な指導方法や全国の動きが分かり、本校の課題も明確になってきた。					・本校の通信教育のあり方について継続した研修会を実施し、特に通信でつける学力、学習支援の工夫、指導体制などについて、コンセンサスを得たい。 ・長野西高校との情報交換会を各教科でも行いたい。
個人懇談の積極的な実施 ・学習指導のための個人面接・特別指導 ・保護者懇談会	・マンツーマンで指導できるため、非常に効果的だった。 ・一人ひとりとできるだけ対話するよう心がけた。会えないときは、電話、メール、手紙等で、やり取りを細かに行うことができた。					・期間にこだわらず、全員と必要に応じて懇談を実施する。 ・職員会の「生徒の情報交換」の時間を生かし、職員一人ひとりが生徒の実態を把握し、自己実現に向けて支援する。	

領域	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教 育 生 徒 指 導	・内規変更に対する検証	・個人面接・特別指導・懇談会等を有効に活用でき、単位取得率向上につながったか。	・個人面接等により、早い段階であきらめていた生徒が粘れるようになったことは大きな成果であり、卒業生の増加にもつながった。 ・単位取得率は向上したが、個人面接等に頼りすぎている生徒もいる。				・個人面接などが1～2月に集中する傾向があるので、期限を区切ることも必要である。 ・学習を継続させるために、夏休み中に第1範囲の段階をまずクリアできるように支援する。
	・学習指導の充実	・生徒によるレポート、添削、面接等の評価を実施したか。	・アンケートを実施した結果、生徒の満足度は高かったが、低学力層の生徒がどの程度満足しているかは不明である。聞こえない声をどのように聞き取るか、アンケートだけでは判断できない難しさもある。				・全員がアンケートを実施し、少なくとも教科内では検討を行いたい。そのために、各教科独自のねらいを持ったアンケートを作成する。
	・シラバスの活用	・指導に生きるとともに生徒に役だったか。	・科目選択を行う際、シラバスが参考になった。 ・シラバスがひとつの進度の目安となった。				・生徒に必要感があるシラバスでありたい。そのために、レポートの表紙に印刷し、面接のポイントが理解できる内容にする。
活 動	・敷地内禁煙の徹底	・集会やHRでアピールし、喫煙マナーを向上できたか。	・校舎内（教室・トイレ等）にたばこの吸い殻があったが、マナー向上について機を逃さない指導が必要ではなかったか。				・学校全体で統一した指導方針を決定する。 ・集会等ばかりでなく、面接時に指導徹底を図る。
	・保護者との連携の強化	・半数以上の保護者と懇談できたか。	・電話をかけるなどして多くの保護者と懇談したため、不安が取り除かれたり実態がよく理解できたりした。				・不適心気味の生徒とは、なるべく早い時期に実施する。 ・1年間かけて全員と懇談する。
	・交通安全の徹底	・会誌や集会等を利用して注意を喚起できたか。	・年度当初の指導で、目立った駐車違反や事故がなくよかった。				・月曜日は他パートの先生方に迷惑になるので、東体育館の東側は駐車禁止区域とする。
学 校 運 営	・進学指導体制の確立	・個人面接、特別指導等を生かし、学力の向上が図られたか。 ・進路希望調査や面接により、個々の進路希望を把握できたか。	・進路実現に向け、具体的に自分自身で受験科目等の調査をさせ、また、学校見学、模試等できるだけ勤めた。 ・学習の遅れている生徒のみの利用であり、学力をさらに伸ばすための個人面接を行うことはできなかった。				・卒業後の進路について1年次から意識を持たせるために、各学年ごとに進路指導のカリキュラムを作成する。 ・進学希望者には、学力向上に向けた個人指導を受けるよう積極的に呼びかける。
	・就職指導の充実	・事業所に対して通信制への理解の働きかけができたか。	・事業所に働きかけを行い、2度目の事業所で採用にこぎつくことができた。				・就職希望者に対して、事業所訪問やジョブカフェの利用など積極的に促す。
学 校 運 営	・地区活動の充実	・魅力ある活動ができ、参加者が増加したか。	・参加した生徒は限られているが、相互の絆が深まり、助け合い、励まし合いながら困難を乗り越えているようだ。				・地区活動の活性化やスクーリング出席率向上をめざし、同じ地区の生徒で学級を構成する。
	・生徒会行事への積極的な参加	・運動会、文化祭、交流会での参加者が増加したか。	・参加者数は横ばい状態であるが、生き生きと活動している生徒が多く、生徒同士の交流の大切さを改めて感じた。				・早めに企画し、広報活動の徹底を図る。 ・生徒を全面に出させるための指導・支援を徹底する。
	・全国的な動向の把握	・全通研等の資料から、本校の課題が明確になったか。	・eラーニング、2期制、定時制との連携、PCを利用した成績処理、学習支援のあり方など本校としての課題が明確になった。				・成績処理方法、ネットワークの共有化について検討する。
学 校 運 営	・教務会の充実	・全体を見通した検討や提案ができたか。	・昨年からの流れを踏まえ、現在の問題を検討し、新しい提案がなされたと思われる。				・教務会として課題を明確にし、スピーディな提言を心がける。
	・係活動の活性化	・課題に対する提案や周知徹底ができたか	・係として年度末には反省をし、次年度への方針を打ち立てたい。				・年度内に反省を生かした次年度への提案をする。
学 校 運 営	・通信制の理解を促す広報活動	・全中学校・高校へ適切な資料を配付できたか。 ・地区説明会で明快な説明ができたか。	・HPへの掲載ができるようになり、通信制の紹介等充実してきた ・地区説明会に向け、資料を準備し、通信制に対する理解が深まるよう努力した。パワーポイントやDVDを用いての説明ができた。				・生徒の声を生かしたPR活動を行う。 ・HPの活用を図り、一層魅力あるものに更新していく。